

## 令和5年度「FDとしての授業相互参観推進」点検評価(大学)

東海学院大学 教育研究開発センター

平成30年、文部科学省は中教審(答申)第211号の中で、学修者が何を学ぶことができるのかを明確にし、学修の成果を実感できる教育を行うことを高等教育改革の指針に挙げ、学修者本位の教育に転換していくことを提言しました。「自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな人材の育成」という教育理念の下、本学は学修者の多様性に富んだ学びに対応しうる、柔軟性の高い教育体制の整備に努めていく必要があります。学修者本位の教育の確立に供することを目的として、平成26年度以降、「学内一般公開型授業相互参観」を実施してきました。

令和5年度前期と後期それぞれ授業6週目から10週目までを実施期間とし、原則すべての科目を参観対象としました。教員は希望する科目の授業を参観し、科目担当者と意見交換を行いました。前期では69名の教員がのべ73回、後期では70名の教員がのべ82回の参観を実施しました(表1、表2)。学期末までに相互参観とそれに基づく授業改善の成果を報告し、改善方針の策定に役立てました。

(表1) 令和5年度前期FD「授業相互参観」実施状況報告表

	全学科	総合福祉	管理栄養	心理	子ども発達
相互参観実施回数 (FDシート枚数、のべ)	73回	15回	18回	30回	10回
相互参観を実施した科目数 (同一科目に対し複数のFDシートがある場合は、科目数を1と数える)	59科目	14科目	11科目	24科目	10科目
相互参観を実施した教員数 (FDシート枚数)	69名/95名	14名/17名	18名/22名	27名/30名	10名/15名
	73%	82%	82%	90%	67%
他学科科目を参観した回数 (FDシート枚数、のべ)	10回	4回	0回	3回	3回
非常勤講師科目を参観した回数 (FDシート枚数、のべ)	0回	0回	0回	0回	0回
参観後ミーティングを実施した回数 (FDシート枚数、のべ)	63回/73回	13回/15回	16回/18回	27回/30回	7回/10回
	86%	87%	89%	90%	70%
授業改善に役立ったか等の回答数 (授業参観結果報告書より)	55名/95名	10名/17名	15名/22名	22名/30名	8名/15名
	58%	59%	68%	73%	53%

(表2) 令和5年度後期FD「授業相互参観」実施状況報告表

	全学科	総合福祉	管理栄養	心理	子ども発達
相互参観実施回数 (FDシート枚数、のべ)	82回	18回	20回	29回	15回
相互参観を実施した科目数 (同一科目に対し複数のFDシートがある場合は、科目数を1と数える)	59科目	17科目	12科目	20科目	10科目
相互参観を実施した教員数 (FDシート枚数)	70名/96名	14名/17名	18名/22名	26名/31名	12名/15名
	73%	82%	82%	84%	80%
他学科科目を参観した回数 (FDシート枚数、のべ)	12回	4回	0回	2回	6回
非常勤講師科目を参観した回数 (FDシート枚数、のべ)	0回	0回	0回	0回	0回

参観後ミーティングを実施した回数 (FDシート枚数、のべ)	73回／82回	17回／18回	19回／20回	27回／29回	10回／15回
	89%	94%	95%	93%	67%
授業改善に役立ったか等の回答数 (授業参観結果報告書より)	70名／96名	14名／17名	18名／22名	25名／31名	13名／15名
	73%	82%	82%	81%	87%